

オスグッド氏病

clindsc



【医学用語解説】

正式には Osgood-Schlatter disease と言いますが、病気ではなく、成長期(10歳～14歳)の骨・軟骨障害です。この時期は growth spurt と言って骨・長軸の成長が急激に起こる時期で、これに大腿四頭筋の成長が伴わないため相対的な筋短縮状態となり、腱付着部(脛骨粗面)に過牽引力がはたらきます。ここの成長軟骨(apophysis)が剥がれることが病態とされています。所謂“軟骨が飛び出した”と言うのがこれです。サッカー(キック動作)やバスケットボール・バレーボール(ジャンプ動作)に多く発症するようです。

ほとんどの症例が保存的に加療されます。